

徳島大学附属図書館との連携事業

徳島県 徳島市立図書館

基本データ

所在地	徳島県徳島市元町1丁目 24番地 アミコビル内
職員数	44人
うち司書数	28人
蔵書数	539,780冊
利用登録者数	127,950人
年間貸出冊数	1,124,263冊 (児童用図書貸出数 352,821冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】人材育成の取組

【活動のねらい】

- 両館職員のレベルアップにより、さらにより良い図書館運営を行い、地域貢献を果たすとともに、館種を越えて職員の交流を図ることで、双方の違いと特徴を知り、図書館の利便性やサービスを向上させて、利用促進および価値を高めることを目的としている。

取組・活動の概要

- 2013年3月に徳島大学附属図書館と徳島市立図書館との連携協力に関する協定を締結し、様々な事業を実施している。
- そのうちの一つに図書館職員交流事業があり、合同職員研修会を年1回、職員の異動が終わった5月または6月頃に複数日において開催している。実施場所は、相互開催とし、両館の特性を生かした施設内容やサービス等を共有することとしている。
- 研修内容は、外部講師を招聘する場合もあり、両図書館に有効なテーマを選定し、職員のスキルアップを重点テーマとしている。
- 今まで実施した研修テーマは「図書館の広報、図書館の魅力を伝えるPR戦略」や「図書館のサイン計画」などがある。講師を招き、講義受講後にグループ討議による活発な議論を行い、研修の最後には、各グループの発表を行い、それについての全体討議を行っている。



合同職員研修会グループ討議

取組・活動の工夫や特徴

- 大学図書館と公共図書館では、運営方針に相違があるため、職員研修における目的を明確にし、かつ議論できる内容とすることが必要である。
- その結果、両館の交流も活発になり、大学生によるビブリオバトルの開催を公共図書館で実施するなど、幅広い利用促進につながっている。

取組・活動の成果や今後の展望

- この事業を既に4年間実施し、職員間の交流や情報共有も活発になり、サービス向上に役立っている。特集コーナーにおいては、相互に作成したブックリストを配置し、利用者への提供を行っている。
- 今後も更なる高みへ両図書館を押し上げる研修テーマを選定し、継続して研修を実施し、職員の育成に努め、利用者の利便性向上に努めたい。



合同職員研修会グループ発表